令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育総合推進地域事業＞

都道府県・指定都市名	鹿児島県	地域名	南種子町

人権課題	子供、女性、高齢者、障害者、アイヌの人々、外国人、インターネットによる人権侵害、北朝鮮当局による拉致問題等、その他（平和）

目標・人権教育のねらい	人とのつながりを大切にし、自ら感じ、考え、表現する子どもの育成 ～一人一人が安心を感じられる学校づくりを通して～

各組織の動き・役割等

鹿児島県教育委員会

南種子町人権教育総合推進会議の設置：家庭・地域への啓発の在り方について協議

南種子町人権教育推進委員会の設置：児童生徒の学習、家庭・地域への啓発の在り方についての研究

- 南種子町教育委員会
- 小・中学校長
- 小・中学校人権教育担当者等
- 小・中学校ＰＴＡ
- 人権擁護委員
- 民生委員　等

推進協力校　→　児童生徒・教職員・保護者・地域住民の理解促進

● 南種子町立花峰小学校（中心校）

アイヌの人々や子供の人権等について、講師を招聘した職員研修やオンライン講演等で学んだことを、総合的な学習の時間や特別の教科　道徳等の学習指導に生かした。

職員研修や学校の人権教育に関する取組を「学校だより」や「人権だより」にまとめ、校区全戸に配布し、保護者や地域住民への情報発信を行った。

家庭教育学級において、ＰＴＡ全体でオンライン講演会（アイヌの人権：二風谷小学校長）を受講し、感想を交流した。

● 南種子町立長谷小学校・南種子町立南種子中学校

花峰小との合同によるアイヌの人々の人権に加え、子供の人権やインターネットによる人権侵害について学び、児童生徒の視点に立った授業づくりをテーマに校内研修を行い、「分かる授業づくり」に努めた。

校種間連携の概要	・南種子町人権同和教育研修会では、協力校の取組について町全校に共有し、中学３年の特別の教科　道徳の研究授業やアサーショントレーニングによるワークショップ型授業研究、熊毛教育事務所指導課指導主事による指導を通して、人権教育の在り方について学びを深めることができた。 ・人権に関する校内研修にオンラインで参加できる体制を整え、教職員の人権教育に係る学びを平準化した。

令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育総合推進地域事業＞

地域・関係機関との連携の概要	・　町内の学校や地域住民も参加する研修会で、北海道平取町立二風谷小学校長によるオンラインによる講演を実施し、アイヌの人々が受けてきた差別の歴史や誇りをもって守ってきた伝統・文化を学ぶことで、アイヌの人々の人権課題についての理解が深まった。 ・　保護者や地域住民の参加のもと、鹿児島県教育庁人権同和教育課の指導主事が児童向けの人権教室（子供の権利）を行った。人権教室の様子を町内の小・中学校にオンラインで配信することで、町全体で子供の権利についての理解を深めることができた。
事業成果	１　児童の変容(花峰小)（「学校楽しぃーと」*による　自己肯定感の高まり　Ｒ６．４月→Ｒ７．９月） 【４:とてもそう思う　３:少しそう思う　２:あまりそう思わない　１:全くそう思わない　】 ⑴　自分なりのよいところがある　3.4　→　3.8　【価値的・態度的側面】 ⑵　よくがんばったなあと思うことがある　3.3　→　3.9　【価値的・態度的側面】 ⑶　「自分には自分なりのよいところがある。」そう思うの割合　Ｒ７．４月　93%　→　９月100% ＊「学校楽しぃーと」：鹿児島県総合教育センターが作成した児童生徒の学校適応感を把握するための質問紙 ２　職員の変容(花峰小)（人権尊重の視点に立った学校づくりのために　点検・評価Ｒ７．４月→Ｒ７.11月） 【４:積極的に取り組んでいる　３:取り組んでいる　２:取組が不足している　１:取り組んでいない】 ⑴　互いのよさを認め合い、互いに伸びる仲間づくり、安心できる学級づくり　3.7　→　4.0 ⑵　様々な人権課題や人権教育についての正しい認識と理解の深まり、指導力の向上　3.4　→　3.8 ⑶　人権尊重の視点を重視した授業づくり（自己肯定感、共感的な人間関係、自己選択・自己決定）　3.7　→　4.0 ・　職員全体で、同じ方向で児童に向き合えた。また、仲間づくりを中心として、様々な取組を全職員で実施できた。 ３　保護者、地域の方の変容(花峰小)（家庭教育学級・オンライン講習、講演会等を通しての感想より） ・　子供の人権について考えるきっかけになった。学んだことをもとに、子供たちと話をしたい。 ・　身の回りの人権問題に関心をもち、考えるきっかけになった。 ・　「差別はされる側ではなく、する側に問題がある。」という言葉が強く心に残った。 ４　その他 ・　アイヌの学習を積極的に推進している北海道平取町立二風谷小学校長の話を聞くことができたことにより、アイヌの人々が受けてきた差別の歴史や誇りをもって伝統・文化を守ってきた先達の生き方を学ぶことで、アイヌの人々の人権課題についての理解が深まった。【知識的側面】 ・　学習のまとめとして、学んだことを保護者や地域住民に向けて学習発表会で発表する場を設定し、地域文化を継承していこうという思いを発信することができた。また、北海道平取町立二風谷小学校と相互に学習の成果を発表することができた。（オンライン）【技能的側面】